

サンクチュアリーセンターニュース

Vol.176

令和6年度2月号

第34回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト 入賞作品決定



最優秀賞（宮城県知事賞）「息を合わせて！」日野 俊文 宮城郡七ヶ浜町（敬称略）

県内外から応募のあった69点の作品の中から、日本写真家協会井村淳氏の厳正な審査の結果、20点の入賞作品が決まりました。

当センターでは、2月1日より応募全作品を展示しますので、是非ご来館下さい。また、5月2日から右記スケジュールにより入賞作品の巡回展示を行います。

写真展スケジュール

期間	会場	展示内容
2/1～3/30	宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター	全作品
5/2～5/31	登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター	入賞作品
6/4～6/30	登米市役所1階ロビー	入賞作品
7/2～7/30	栗原市役所1階ロビー	入賞作品
8/1～8/31	JRくりこま高原駅オアシスセンター	入賞作品

滝川高校の皆さんが伊豆沼で研修を行いました

科学技術系人材の育成校（スーパーサイエンスハイスクール）として文部科学省から指定されている北海道の滝川高校1～2年生の生徒が、伊豆沼・内沼で研修を行いました。講話では、伊豆沼の環境や水鳥の生態などの説明を聴講し、その後の野外学習では越冬中の昆虫の生態を学び、繁茂しすぎた水草の除去などの保全活動も行いました。研修課題について、意欲的に取り組む姿が印象的でした。この研修を通して、滝川高校の皆さんが身近な生き物や身の回りの環境問題などへの関心を高めて頂ければ幸いです。



越冬中の昆虫観察の様子

ASEAN諸国の学生が伊豆沼を訪れました

ASEAN諸国と東ティモールの学生が、サンクチュアリセンターを訪れました。外務省のJENESYSプログラムの一環で、登米市でファームステイをしながら、伊豆沼の環境保全活動を学ぶ内容です。伊豆沼の自然や保全活動、普及啓発活動について紹介しましたが、どれも興味を持って聞いて頂き、多くの質問がありました。この体験が、日本とASEAN諸国をつなぐきっかけになれば嬉しいです。



館内の展示も見て回りました。



伊豆沼の環境保全活動について熱心に聞いていました。



第10回自然体験講座開催



今年度最後となる自然体験講座「ガンの飛び立ち観察会&コクガン観察会」が1月11日に開催されました。

この日の伊豆沼は、気嵐が発生する寒い朝となりましたが、鳥たちには特に影響もなくマガンが一斉に飛び立つ様子に出会えたり、アトリの集団移動に出会えたりと、参加された方達からも「参加して良かったー！」という声が多く聞かれた。朝食後は、バスで志津川湾まで移動し、ビジターセンターからコクガンを観察して帰って来ました。

スワンププロジェクトから



2024年12月18日、スワンププロジェクトのハクチョウたちに新しい仲間が加わりました。ユウタを父親とする5羽の家族です(写真1)。家族すべての個体にスワンアイズが装着され、子供たちはすべてオスです。現在、伊豆沼の北側を中心に活動しています。その家族の母親であるレナが撮ったのが写真2です。1月13日9時に沼から飛び立つオオヒシクイの飛翔です。ハクチョウ目線ならではの画像です。



写真1

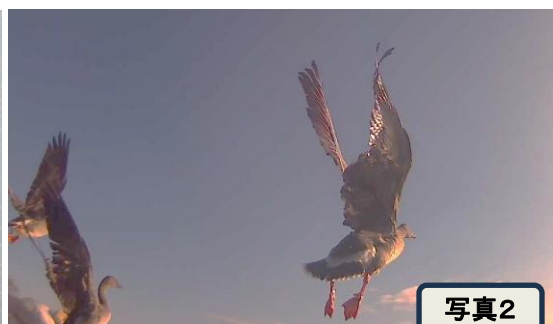


写真2

以下から位置情報、ハクチョウ目線の画像が見られます。

<https://intelin.kgo.com/swaneyeyes/jp/>



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ:<http://izunuma.org/>
E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp

